

～ひとごとではなく、「自分ごと」、「みんなごと」として市民・行政が協働！～

“みんなごと”のまちづくり推進事業「まちづくり・お宝バンク」

令和2年度実績報告書

「まちづくり・お宝バンク」の取組提案 実績（令和2年度）

京都のまちの様々な課題の解決を「ひとごと」とせず、市民と本市が共に「自分ごと」、「みんなごと」と捉えて協働するまちづくりを推進するため、広く市民の皆様から、京都がもっとよくなる、もっと住みやすくなる、まちづくりの取組提案を募集し、「まちづくり・お宝バンク」に登録・公開するとともに、提案の実現や市政への反映に向け、多彩な市民力・地域力を活かした、きめ細かなサポートを行っている。

1 「お宝バンク」取組提案者の主な活動

令和2年4月

京都やからできるねん！国境のない体験で子供らしい子供を育む

取組提案者: 国境のないお家 ULU 伊藤裕子, レディーフォー株式会社

提案者同士を京都市が
マッチング！！

オンライン英語コーチ「やりなおし英語サロン」の伊藤さんが、子供たちが集う学童のようなイメージの国籍・年齢・性別関係なく集い、皆が笑って素のままの姿でいられる場所をつくりたいと、100万円の資金調達を目指してREADYFORにてクラウドファンディングに挑戦し、令和2年4月に目標額を達成(実績額130万5千円)しました。



令和2年7月～

地域の交流拠点をつくり、認知症への理解を広げたい！

取組提案者: 京都市岩倉地域包括支援センター

提案者と様々な
団体が連携！！



認知症予防支援の取組を精力的に行ってきた岩倉包括支援センター。そんな中これまで築いてきたご縁から、使われていない農地を無償で貸していただけることに。「屋外なら安全に活動できるのでは」ということで野菜を育てる『いわくら農園倶楽部』は始まりました。子ども食堂「京都 Tera.Coya」さんへの、収穫した野菜の提供や、株式会社ヤサカさん製作協力・指導によるプランターの製作、料理試食会の開催など、様々な団体と連携しながら、持続的な活動を目指されています。

令和2年10月(平成28年4月)

「京都市スタートアップ支援2号ファンド」を設立

提案者同士と京都市

取組提案者: 京都信用金庫, 京都中央信用金庫, 未来ベンチャーキャピタル, 日本政策金融公庫, 京都リサーチパーク

が連携！！

創業初期のベンチャー企業の資金調達支援としてファンドを設立し、ファンドを核とした創業支援体制を構築するため、取組提案者と京都市の間の相互連携・協力を目的とした協定を締結しました(平成28年4月)。

これまで、計16社の投資先企業を決定し、創業支援を実施してきた本取組を、継続・発展することを目的に、「京都市スタートアップ支援2号ファンド」を設立しました。



【投資先企業の実績】

- ① 株式会社サビア (R1.5.14 投資実行)
 - ② 株式会社坂ノ途中 (R1.5.15 投資実行)
 - ③ 株式会社Space Power Technologies (R1.6.5 投資実行)
 - ④ フリースタイルディスプレイ株式会社 (R1.8.8 投資実行)
- ※H28～30年度は「リボンディスプレイジャパン株式会社」をはじめ、計12社へ投資実行済

令和2年10月

生きづらさを抱える少女たちに寄り添う居場所づくり

取組提案者: 一般社団法人京都わかかさねっと
HOSTEL NINIROOM

提案者同士が連携!!

生きづらさを抱える少女の支援や居場所づくりを若草プロジェクトinKYOTOとして取り組んでこられた京都更生保護女性連盟から、これからは更生保護の枠を超えて支援の輪を広げるべく、一般社団法人京都わかかさねっとを新たに立ち上げられました。

そしてこの度、同じまちづくり・お宝バンク提案者NINIROOMさんと連携し、子供の未来応援基金未来の応援ネットワーク事業採択団体として「わかかさカフェ」がスタートしました。



令和2年10月

ラジオでまちづくり情報発信中

取組提案者: 立命館大学 20 坂田ゼミ

提案者と京都市が
連携!!

立命館大学産業社会学部 20 坂田ゼミ学生のみなさんが、Radio Mix Kyoto にて毎週生放送でまちづくり情報をお届けしています。主に北区をフィールドに、地域福祉、文化産業、観光をテーマにする3チームの学生さんが、ラジオを活用して調査研究をしています。聞き逃し配信もされていますので、ぜひお聞きください。エンディングでは、まちづくり・お宝バンクの取組提案紹介もしてくださっています。



令和2年11月

Kyo-So プロジェクト「林業科高校生と高齢者がつくる林福連携のものづくり」商品発表!

取組提案者: チーム Kyo-So (共創し, 協奏し, 京想する), 高齢者福祉施設西院

提案者同士が連携!!

コロナ禍の中オンライン会議を導入して6月から本格的にスタートした、京北の北桑田高校森林リサーチ科の高校生と、高齢者福祉施設西院で「はたらく」高齢者のコラボ商品が完成しました!

コースター、賽銭箱型貯金箱、木製スマホスピーカーの3点で、11月7日(土)、8日(日)にあうる京北で開催される「ツクル森2020」で展示販売しました! デザインと加工を北桑田高校森林リサーチ科の高校生が、組み立て、磨き、オイル仕上げを高齢者福祉施設西院の利用者が担い、夏から秋にかけて作りました。



令和2年12月

ついに！寒天発祥の地記念碑が設置されました！

提案者と京都市が
連携！！

取組提案者：伏見寒天プロジェクト



「寒天発祥の日」である令和2年12月27日に、伏見中学校前に「寒天発祥之地」記念碑が設置されました。江戸時代の寒い冬の日、伏見区御駕籠町で偶然できたという説のある寒天発祥の地のこと・ものを、もっと知ってもらいたいという植野さんの想いが、伏見寒天プロジェクトのみなさんやそれを応援する地域のみなさんによって形になりました。ひとまず記念碑設置を達成し、これからも更に伏見の寒天を知ってもらえるようなまちづくりの仕掛けを考えていってほしいです。

令和3年2月

食糧支援と食品ロスを防ぐために協力

提案者同士を京都市が
マッチング！！

取組提案者：NPO法人インド日本友の会、嵐山こども食堂、
だいきヤンドルプロジェクト、NPO法人 happiness



NPO 法人インド日本友の会が運営する向島チャンドラ・セカール・アカデミー京都校のクナ・ダッシュ理事長さんから、東京都福祉保健局から災害備蓄米を大量にいただいたので、必要とされている方へお渡しできたらとのご連絡をいただきました。賞味期限が近く、残念ながらフードバンク系の団体さんの受け入れ規定に合わなかったため、まちづくり・お宝バンク取組提案者さんと、食料配布スキルを持っていそうな団体さんへお声がけをさせていただきました。1箱50食〜と大量でしたが、「ハピネス宇野様」「だいきヤンドル高向様」「嵐山こども食堂高畑様」みなさま協力を快く受けてくださり、在庫全てを活用していただくことができました。

令和3年2月

あなたの”半径 3メートル”をもっと豊かにする「家族会議レストラン」COGでLINE選定チャレンジャー賞を授賞！

提案者と京都市が
連携！！

取組提案者：チーム「半径3m」



2月におこなわれた全国の自治体と市民団体が連携するチームが参加するチャレンジ・オープン・ガバナンスにて、京都市のチーム HANKEI3mとしてファイナリストに残り、家族会議をプレゼンテーションし、なんとLINEさんが選ぶチャレンジャー賞をいただきました！

LINEさんのグッズが届き、チーム一同喜んでおります。COGでは、本番直前まで資料や台本を修正したり、オンラインでミーティングを重ねたりと、目的に向かってとりくむことができチームとしてよい時間を過ごすことができました。プレゼンテーションで満足することなく、実践まで落とし込んで、家族会議をじわじわと広げていきたいです。

2 チーム京都の活動

取組提案者: 移住応援チーム及び京北振興チーム

京都で暮らす魅力の発信や移住相談への対応など、京都市への移住促進に取り組むため、移住応援や空き家活用に取り組む「まちづくり・お宝バンク」取組提案者と京都市職員で、「チーム京都・移住応援チーム」を結成しました。また、右京区京北地域への移住促進を進め、地域の活性化を図るため、「京北振興チーム」も結成しました。両チームが力を合わせ、京都ならではの市民力、地域の多様な魅力を活かした取組を進めています。

【両チームの取組（一部紹介 令和元年度）】

- ・移住相談窓口（市内，京北，東京）の運営
- ・京都移住茶論などのイベント開催（年10回）
- ・ホームページ「住むなら京都」での情報発信



移住イベントの様子

「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」の取組

取組提案者: 文化庁京都移転私たちができること推進チーム



「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」第1回会議

文化庁京都移転を契機に、京都に息づく「日本伝統の生活文化、精神文化や、多彩な文化芸術」の更なる振興・発信に取り組むため、「まちづくり・お宝バンク」取組提案者と京都市職員でチーム京都を結成しました。「文化の力で日本を元気にするために、自分たちに何ができるか」を考え行動することにより、他の市民や様々な団体等に、共に行動する動きが、市民運動的に広がることを目指しています。



「文化庁地域文化創生本部設置記念式典」



「いきいき春の文化祭」



松山大耕氏による坐禅体験

(取組提案者)

笹岡隆甫氏 (未生流笹岡家元), ジャックパイエ氏・リムボン氏 (合気道無限塾・立命大教授), NPO法人障害者芸術推進研究機構 (天才アートKYOTO), NPO法人子育ては親育て・みのりのもり劇場, NPO法人劇研, メディア支援センター, ヤッサン一座の紙芝居, 竹内弘一氏 (KBS京都), 松山大耕氏 (退蔵院副住職), 京都学生祭典, 京都青年会議所, 京都商工会議所青年部, 京都市PTA連絡協議会, 京都料理芽生会 (京都市)

文化庁移転推進室, 京都創生担当, SDGs・市民協働推進担当, 文化芸術企画課, 文化財保護課, 教育委員会

【チームの取組 (令和2年度)】

- ・「文化庁京都移転・私たちができること推進チーム」第6回会議を実施。令和元年度のチーム活動と、令和2年度の取組内容について報告(R2.9.4 オンライン)
- ・京都市PTAフェスティバル(第23回)において、昨年度作成した「文化庁ウェルカム動画」を放映開催(R2.12.12 オンライン配信 (YouTube 配信, 特設サイト掲載, 特別番組放送))



- ・「マイ文化※」フォト&ムービーコンテストの開催(R2.11.15~R3.1.11)
コロナ禍で今まで見過ごしてきたかもしれない、暮らしに息づく文化を改めて感じ、文化の力が広がるよう、「マイ文化」をキーワードとして、コロナ禍においても変わらない「マイ文化」や、コロナ禍だからこそ生まれた新しい「マイ文化」等に関するフォト&ムービーコンテストを実施。

※マイ文化とは

文化庁チームから生まれた言葉。人は、それぞれ個々人のオリジナルの嗜好性、流行しているものごと、興味関心(例:マイブーム)を持っているが、その中でも、「文化」の領域に関するマイブームを「マイ文化」と呼ぶ。

フォト部門金賞 タイトル「初写経」



ムービー部門金賞 タイトル「Miso soup」

